

パソコンいわくら教室新聞

セキュリティ対策…聞いているけれども、どうしたものかよくわからないなど、対策は必要なんだけれども、と思われる方。一度整理してみましょう。

パスワードの対策

ネ

ットサービスを利用するためにほぼ必要となる「ID」と「パスワード」。サイトごとに取り決めの異なりますので、余計にややこしく思われます。ネットショッピングや金融サービス、飛行機や鉄道の予約など、ネットのサービスは利用する個人を特定して行うのが常です。

まず最初に行うのは利用登録です。個人情報登録のほか、最近では本人認証のために様々な操作を行います。（マイナンバーの照会や電話番号での認証など）登録が終了すると「ID」と「パスワード」を発行してくれます。その情報で次回からそのサイトへ「ログイン」を行い、様々操作を行います。

自分専用の口座情報が見れたり、買い物をする、ちゃんと品物が届いたり。自分専用の操作が行なえます。…もし、この情報が他人に漏れたら、大変なことになります。

対策は？



Google と Amazon のログイン画面

① 生年月日や車のナンバーなど簡単な文字列は避ける。できれば「数字」「アルファベットの

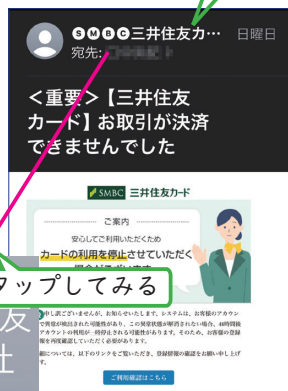
大文字・小文字」「記号」などを混ぜて12文字以上の文字を考えてみましょう。意味のないバラバラな文字では覚えられませんので、自分のルール（例えば、サイトの名前+生年月日+自分の名前…など）を決めてはいかがでしょう。

最近では「2段階認証」と言って、パスワードを入力しただけではログインできないサイトが増えてきました。ログインしようとする、スマートフォンに通知が届き、そこにあるコード入力が必要になる仕組みです。

② 複数のサイトで同じパスワードを使わない。パスワードが同じだと、一つのサイトで見破られてしまったら、全てで使われてしまいます。

③ 利用しているサイトからメールやSMSが届くことがあります。その内容は「本人確認」「利用料金の引き落としについて」「登録情報に不備がある」など様々。『ここからサイトに移動してログインして』など文書内に案内があります。くれぐれも案内に従わないようにしましょう。ほぼ詐欺です。入力した情報は盗まれます。いくら複雑なパスワードにしても、自分で入力したのでは意味がありません。

いかにも本物らしい、慌ててしまいそうなメールの内容



アドレスがおかしい

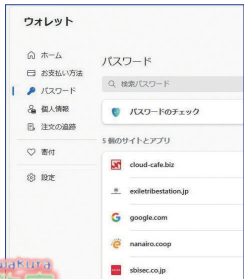
メールの発信元を確認してみましょう。アドレスがおかしいことがわかります。

内容の真偽を確かめる

には、メールのリンクからではなく、正しいアドレスを直接指定してサービスサイトを訪れましょう。まっまったく見に覚えのないサイトの案内なら、即削除しましょう。加えてメール拒否の設定ができればなお良いですね。

④ パスワードは保存されている

入力されたパスワードは、別途記録せずとも保存されています。ブラウザの設定を確認してみましょう。



教室のWebページは左記アドレスから、スマホ・携帯からは、QRコードからどうぞ。新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>

See you next month

